

平成 27 年度第 1 回安芸高田市総合教育会議の主な意見【概要】

●確かな学力の向上（県内 1 番を目指して）

- 行政運営上、教育は欠かすことのできない重要な分野。今後益々レベルアップは大事。
- その意味で学習補助員は非常に有効な制度の一つ。
- 県内 1 番を目指し、目標に向かって努力をするというその経過が大事。
- 安芸高田市を魅力ある街にするためには、教育が非常に大事。一人一人の子どもたちを見ていくと、色々な課題を抱えている。指導者は子どもたちの日頃の生活に目を向けながら支援をしているが、十分でない面もある。母親や父親の支援なども含め、今後なお一層市長部局としっかりと手を組んでやっていくことが必要。
- 幼少期、特に小学校の時期は、学力のみならず様々な運動能力を幅広く身に付けさせていくことに、今は注力すべきではないか。
- 教育はソフト面ハード面双方のバランスが必要。例えば ICT 教育など、進めるとなればハード的な整備は欠かせない。

●故郷に対する自信と誇り

- 将来的に、その子どもの寄って立つ土台や基礎は、この安芸高田だという「故郷を想い、夢と志に向けて共に学び続ける人づくり」をトータルでやっていくことが必要。

●魅力ある安芸高田市の創造（オール安芸高田）

- 中学校又は高校の他市への進学を何とか食い止める、そのことは必要なこと。安芸高田市内の高校との連携は今後益々必要。
- エゴをなくし、「オール安芸高田」で教育を進めることが必要。そのため、この度の副読本は小中学校の児童生徒に安芸高田市の歴史を知ってもらうことはもとより、市民の皆さんにも是非見ていただきたい。
- 歴史、文化、スポーツが安芸高田市の活性化の切り口になってきている。今後さらに教育委員会と市長部局と連携を密にやっていくことが必要。